

平成 13(2001) 年, 図書館に限らず, 本学の有するさまざまなコンテンツを公開することを目的として, 附属図書館時計台棟 1 階に公開展示室が整備された。

毎年 11 月の大学祭(一橋祭)と国立市民祭の時期に, 企画展示と開催し, 貴重書を含めた当館のコレクションを展示するとともに, 展示テーマにちなんだ講演会を開催している。

常設展示では, 本学の源流である商法講習所の設立から東京商科大学を経て新制一橋大学設立に至る歴史を紹介する「一橋大学への歩み」に加え, 当館の所蔵する文庫等の一部を順次展示紹介している。また, 展示室とは別に, 主に学部生向けに興味深い資料をシリーズで紹介する館内小展示も行っている。

9.1 企画展示開催記録

(1) 平成 13 年度「一橋大学への歩み：創設期から一橋大学の成立まで」

- 日時: 2001 年 11 月 7～20 日
- 延入場者: 1,332 名

(2) 平成 14 年度「武家社会と江戸・大坂の経済：幸田成友とその史料」

- 日時: 2002 年 11 月 1～15 日
- 延入場者: 1,190 名

同展示講演会「幸田成友の人と学問」

- 日時: 2002 年 11 月 8 日
- 講師: 池享(一橋大学経済学研究科教授)
- 聴講者: 40 名

(3) 平成 15 年度「複式簿記がやってきた！：明治初期簿記導入史と商法講習所」

- 日時: 2003 年 10 月 27 日～11 月 7 日及び 11 月 10～14 日
- 延入場者: 1,037 名

同展示講演会「一橋と簿記と西川文庫」

- 日時: 2003 年 10 月 30 日
- 講師: 安藤英義(一橋大学商学研究科教授・前附属図書館長)
- 聴講者: 54 名

(4) 平成 16 年度「都留重人と激動の時代：いくつもの岐路を回顧して」

- 共催: 一橋大学経済研究所
- 日時: 2004 年 10 月 25 日～11 月 5 日
- 延入場者: 1,088 名

同展示講演会

- 日時: 2004 年 10 月 26 日
- 講師・演題:
 - 都留重人(一橋大学元学長・名誉教授)「思い出の数々」
 - 鶴見俊輔(哲学者)「哲学教師としての都留重人」
 - 宮本憲一(滋賀大学前学長)「都留重人先生に学ぶ」
 - 伊東光晴(京都大学名誉教授)「都留先生が一橋に残したもの」
- 聴講者: 380 名



札差文書箱
(平成 14 年度企画展示)



日本郵船会計帳簿
(平成 15 年度企画展示)



ドイツ紙幣コレクション
(オープンキャンパス特別展示)



平成 16 年度企画展示ポスター

9.2 その他の特別展示(平成 16 年度～)

(1) オープンキャンパス 2004 特別展示

- 日時: 2004 年 8 月 4 日
- 延入場者: 882 名

(2) 日・EU フレンドシップウィーク協賛企画展示「アンデルセンと『裸の王様』」

- 日時: 2005 年 5 月 9～13, 16～20 日
- 延入場者: 428 名